

かいほつ

岡崎市特別支援教育部報

第七十七号

(題字) 緑丘小五年 鶴野 まりか

「みんなと一緒に」宣言

大門小学校 武田 正道

本校六年生が選んだ今年の漢字第一位は、「新」でした。六年間の総決算と共に、中学へ入学する意識の高さを改めて感じました。その中の一人が、校長室で宣言をしました。

ほく、(みんなと少し違っているけど)これからもみんなと一緒に、勉強や運動、遊びをしたい。頑張る。

これは、「中学校には少人数のクラスもあり、自分の学習にあった内容が準備される。その選択は、決してダメな選択でなく、自分に合った選択であるかもしれない。中学卒業後の進路選択に関係するから、しっかりと考えて」という問いかけに応えたものです。

子どもと担任は、学年ごとに何度となく相談をしてきました。このように約束できるのは、初めてでした。

これまでの子どもの反応は「これから起こることで約束してもできないことがあるから、約束はしない」ということでした。ある意味、自分がどの程度できるかということを判断してきた上での答えでした。今回は違っていました。自分を受け入れてくれる仲間と一緒に

にいたい。仲間を大切に思う心の発露を感じました。

心の底から自分の思いを表現できると、その翌日から、ぐんぐん子どもは変化をしました。教師は、少し

の助けと配慮をするだけで、ノートをしつかり取り、授業参加の姿勢は、ずいぶん良くなりました。

「この担任と子ども、保護者の関係がよくなったからだ」という評価では、ずいぶん穴のある評価だと考え

ます。この変化の根本は、「学級集団が個性のある子を受け入れる度量の深さをもっていたからだ」と考えま

す。この学年は入学時から担任と共にそのような学級集団をつくっていきこうと努めていました。一朝一夕では

はなしえません。「子どもの個性を認め合い、受け入れていく集団作り」は、子どもも担任も心揺さぶられる

場面の連続だった考えます。この卒業時の劇的変化だけを

取り上げてはいけないとも考えます。私は、「子ども同士で個性を認め合う集団は、大人の

支援より大きな効果がある」ことを学びました。そして、改めて「みんなと一緒に」の宣言を考えま

す。これは、子どもに言わせるまでもなく、当たり前前のことです。その当たり前を教師がいかにも実現しているか、それが問われる教育現場です。



はなはな遊園地

常磐小学校 鈴木 明美

はなはな一組と二組の教室は、一階と二階に分かれています。みんな仲よしなので、休み時間になると、一組の教室に集まって一緒に遊んでいます。一組の教室には、手作りや既製品の使い方を工夫した遊具が集まっています。ちよっとした遊園地のような感じです。

六年生の子が作った大型段ボールハウスは、ホラーハウスと名付けて、みんなが入って楽しんでいきます。遊園地のランドトレインが大好きな子は、大型三輪車に荷台を付けて友達を乗せ、機関士になって漕いでいます。小さくさまざまなバランスボールは、手軽なトラップリンです。小さい子は、大きい子の遊びを見て遊び方を覚え、大きい子は、小さい子が安全に遊ぶように気を配って、毎日の休み時間を楽しんでいます。



卒業を前に



思い出に残った一年間

豊富小六年 大山 善

ぼくは、六年生になって男川小から引っこして来ました。一年間しか豊富小にいなかったけど、運動会や学芸会、修学旅行やドッジボール大会も友達といっしょで楽しかったです。自然いっぱい豊富小で思い出がたくさんできました。



全力でサポートを

豊富小保護者 大山亜沙美

長いと思っていた小学校六年間。本当にあつという間でした。苦手なことも多くあったのですが、友達や先生方に支えていただき、楽しく学校に通うことができました。中学生になっても苦手なことに向かっていける強い心をもつてくれたらうれしいです。そうなれるよう全力でサポートしていきたいと思っています。

やればできる

六ツ美中三年 糸山 龍成

三年間で一番がんばったのはハンドベルです。仲間と和音を合わせるのは本当に難しかったです。しかし、できるようになってきました。きつとんでもそうだと思います。やればできる、そう思って高校でもがんばります。



成長

六ツ美中 保護者

あつという間の三年間でした。いつの間にか背が伸び体重も増え、その成長に驚くばかりです。二年間練習したというハンドベル。文化祭で全校生徒の前で演奏したときには感動しました。次は高校生ですね。精一杯がんばってください。

中学生卒業後の進路

進路希望先	男	女	計
愛知教育大学	0	0	0
附属特別支援学校	0	0	0
みあい特別支援学校	23	9	32
豊田高等特別支援学校	5	1	6
半田特別支援学校桃花校舎	0	0	0
豊川特別支援学校本宮校舎	0	0	0
岡崎特別支援学校	0	0	0
専修学校	10	9	19
高等学校(全日制)	0	0	0
高等学校(定時制)	0	2	2
通信制・サポート校	1	2	3
春日台職業訓練校等	0	1	1
就職・その他	2	1	3
合計	41	25	66

(三月一日現在)
多種多様な進路に対応できるように、これからも指導・支援を充実させていきます。

今回、編集に携わった広報部委員

- ・金丸 幸司 (井田小)
- ・鈴木 はるみ (甲山中)
- ・片山 みはる (緑丘小)
- ・森田 志津子 (岡崎小)
- ・吉橋 祐子 (大樹寺小)

< 今年度の表彰 >

- 第六回JSCA全国知的障害者水泳競技大会 グループC背泳ぎ50m 優勝 城北中 太田 空良
- 第二十三回中部障がい者水泳選手権大会 十三歳 百m背泳ぎ 優勝 北中 豊崎 響
- 愛知県特別支援教育推進連盟表彰 才能開発教育研究財団理事長賞 常磐中 渡辺 朱音
- J A交通安全ポスターコンクール 金賞 (J A愛知中央会会長賞) 本宿小 平野 義久
- MOA美術館児童作品展絵画の部 金賞 広幡小 高橋 魁李
- CBC絵画コンクール 佳作 六名小 富田 美桜
- 全国書画展覧会 画の部 特選 城北中 竹内 一稀
- 銅賞 城北中 羽根田 理紗
- ライオンズクラブ国際協会主催平和ポスター・コンテスト 優秀賞 六北中 比江島沙夜華
- 岡崎市民陸上競技選手権大会男子砲丸投げ 第2位 矢作北中 福島 翔大
- 岡崎中学校新人総合体育大会男子砲丸投げ 第2位 矢作北中 福島 翔大
- 岡崎市防火作品展ポスターの部 岡崎市長賞 本宿小 比嘉 琉斗
- 岡崎市技術・家庭科作品展 入選 愛宕小 成田 晴空
- 岡崎市小中学校書き初め展 特選 岩津中 仲村 晃
- 常磐中 前田 智哉
- 翔南中 長澤 有里矢
- 甲山中 織田 帆乃実
- 清水 葵
- 岡崎市読書感想画コンクール 教育委員会賞 連尺小 清水 獅温
- リトルアーティスト絵画コンクール リトル賞 矢作西小 鈴木 奏音
- 教育委員会賞 大樹寺小 嶋井 椰々音